

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 香美市立 舟入小学校		校長	大井 厚志	教員数	学 級 数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計	
		児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数		児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数
		道徳教育推進教師	比与森 信幸	17		17(1)	2(1)	20(2)	2(1)	23(3)	2(1)	16(2)	3(2)	18(2)	2(1)	18	1	112(10)	9(3)
研究テーマ		自分が好き、友達が好き、舟入が好きな児童の育成～教材や人との対話を通して、よりよい見方や考え方を育てる～																	
年度当初の学校の状況		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(到達目標達成状況)							
<p>本校の児童は、素直で周りの人に対して優しく、友達や教師と積極的に関わろうとする児童が多い。道徳の授業では、多くの児童が意欲的に参加し、教材から自分事として考えようとする姿が見られている。(年度末意識調査①道徳の勉強はすきだ87.6%)その一方で登場人物の気持ちを考えたり、自分に置き換えて考えたりすることが苦手で、主体的に考えられない児童も存在している。</p> <p>学校全体で自他のよさを認め合う取組を続けているが、できて当たり前と考えたり、他者と比べると自分は劣っていると考えたりするなどの理由で、自分のよさを実感できていない児童が多く、昨年度の意識調査では計3回とも肯定的回答が80%を超える事はなかった。</p> <p>また、各学年が地域と関わる学習や行事を計画的に実施しており、地域の人への感謝や、地域についての誇りをもっている児童もいるが、その地域をさらによりよくしていこうという意識はまだ低い。(年度末意識調査⑨地域や社会をよくする83.8%)</p>		<p>道徳意識調査の以下の項目における肯定的回答の割合について85%以上を達成する。</p> <p>① 道徳の勉強は好きだ ② 考えを伝えたり聞いたり、生き方を考える ③ 家の人と道徳の話をしたり、「高知の道徳」を読んだりしている ⑤ 夢や目標がある ⑥ 人が困ってれば進んで助ける ⑦ いじめはどんな理由があってもいけない ⑧ 学校の規則を守っている ⑨ 地域や社会をよくするため何をすべきか考える ⑩ 高知県が好き</p> <p>④ 「自分にはよいところがある」については肯定的回答80%以上を達成する。</p>																	
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)														指標達成状況の分析			
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)						達成状況		年度末評価				
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳運営部会をもって、研究体制の改善及び進捗管理を行う。(毎月1回以上)</li> <li>◆各教科等、道徳教育との関連を整理し、各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証を行う。(3回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の作成(4月)及び検証(7月)、道徳意識調査の結果に基づく協議・取組策の検討(5～6月)</li> <li>②道徳の内容と各教科等との関連について検証・道徳の時間の年間指導計画の評価欄への記入(事後研にて随時記入)</li> <li>③既存の取組や総合的な学習の時間等、体験的学習との関連を図った授業実践及び道徳教育を充実させる取組の実施</li> <li>④授業者と道徳教育推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて打合せする時間の確保(事後研 放課後) (事前研 月:4,5年 火:1年 木:3年 金:2,6年)</li> </ul>																	
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公開授業研究の案内を出し、授業についての意見をもらう。(5回以上)</li> <li>・授業チェックシート 【教師用】の全項目を3.3以上にする 【児童用】の全項目を3.5以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公開授業研究会(6年:4月24日畿央大学島教授を招聘) (4年:5月14日高知大学森准教授を招聘) (2,3年:7月7日高知大学森准教授を招聘)</li> <li>・道徳授業チェックシートの活用・集計・分析</li> <li>②道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果及び道徳ノートを活用した個人内評価に係る協議・授業改善策の検討</li> <li>③教具の作成・活用、学習指導案、板書写真等の整理・保管</li> <li>④授業づくり講座への参加</li> </ul>																	
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳ノートの活用や授業評価を基に、自己を見つめ、よりよい生き方につながるための評価方法について研究を重ねる。</li> <li>◆授業評価を実施し、PDCAサイクルに基づいた見取りと点検を繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事前研・事後研において、道徳ノートや授業評価を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、各担任と道徳教育進教師で共有を図る。</li> <li>②道徳教育推進教師が毎時間、2人以上の児童評価を書きためていく。</li> <li>③評価の仕方を校内で共有→1学期評価の実施及び通知表の記入→1学期の個人懇談で保護者に伝達→2学期の評価について改善の実施</li> </ul>																	
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全学級公開による道徳参観日を実施(1回)し、保護者参加率を90%以上にする。</li> <li>◆学校の掲示板に道徳コーナーを設け、毎時間の振り返りを掲示していく。</li> <li>◆HPに道徳の研究部屋を設置し、更新する。(学期に1回以上)</li> <li>◆道徳だより、懇談会、コミュニティ・スクールにおいて研究の周知徹底、道徳の時間の支援体制の推進を図る。(学校だより 毎月1回以上)(道徳だより 毎月1回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①参加型の授業や保護者と子供による懇談会等を通して、児童、保護者、地域の方々とともに考える道徳参観日の実施(6月)</li> <li>②児童、保護者、地域の人の参加による懇談会を実施</li> <li>③学校だより、学級だより、道徳だより、HP等による推進活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳参観日への参加の呼びかけと取組を道徳だより、HP等で発信</li> <li>・道徳だよりやHPのほか、学級だよりにも道徳欄を設け、道徳の授業の様子や縦割り班活動、総合的な学習の時間における体験活動等、全教育活動における児童の道徳的実践の紹介</li> <li>・道徳教育の推進の計画や公開授業日と内容等の周知</li> <li>・なかよし保育園、山田特別支援学校、ワークセンター白ゆり、博愛園等の教育、福祉関係機関に学校だより、道徳だよりを配布する。(毎月1回)</li> </ul> </li> <li>④入学式・PTA総会・集会・始業式、終業式等での校長の話や、6月の学級懇談会、夏休みの宿題で「高知の道徳」を活用する。</li> </ul>																	

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。